



唐と新羅が再編成した東アジアで、日本が生き残るためには、強力な政府を建設する必要があった。政府は先進国の唐帝国を手本にして国を統治する律令制度を導入し、仏教の国教化を促進してゆく。飛鳥浄(きよ)御(み)原(はら)宮・難波(なにわ)京・藤原(ふじわら)京と都市建設の実験を繰り返しながら、710(和銅3)年3月、平城に遷都して都が完備された。国土の中心に天皇の政府が所在する都城を営み、地方には政府の意志を代行する国府(こくふ)をおき、その傘下に郡(ぐん)・郷(ごう)・里(り)を配置するという、壮大な構想であった。聖武天皇は天平12年(740)～天平17年(745)まで都を転々と移すが、天平17年～延暦3年(784)、再び平城京を都としている。

平城京は朱雀大路をはさんで西側を右京、東側を左京という。条坊地割りによって区画された。朱雀大路の南端には羅城門、北端には朱雀門があり、朱雀門より中は1 km 四方の平城宮となる。大極殿、朝堂院、天皇の住まいである内裏、役所、庭園がある。奈良時代前半、大極殿は朱雀門の真北にあった。しかし後半には、東側に第二次大極殿が建てられている。

平城京の一部建物は平安京への遷都後も長く継続し、官立の大寺である東大寺・興福(こうふく)寺・元興(がんごう)寺・大安(だいあん)寺・法華(ほっけ)寺・西大寺・唐招提(とうしょうたい)寺・薬師(やくし)寺などは移っていない。平安遷都後もこれらの寺院は奈良を南都と称し平安京政権の精神的な支えとなり、宗教的な都市となった。

参考文献 町田章編『古代史復元 8 古代の宮殿と寺院』(株)講談社 1989年
奈良文化財研究所発行 平城宮跡リーフレット



0001_展示資料



0002_展示資料



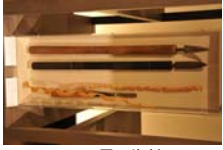
0003_展示資料



0004_展示資料



0005_展示資料



0006_展示資料



0007_展示資料



0008_展示資料



0009_展示資料



0010_展示資料



0011_展示資料



0012_展示資料



0013_展示資料



0014_展示資料



0015_展示資料



0016_展示資料



0017_展示資料



0018_展示資料



0019_展示資料



0020_展示資料



0021_展示資料



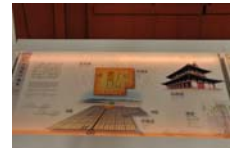
0022_展示資料



0023_展示資料



0024_展示資料



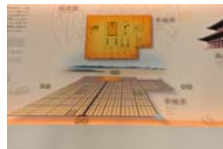
0025_展示資料



0026_展示資料



0027_展示資料



0028_展示資料



0029_展示資料



0030_展示資料



0031_展示資料



0032_展示資料



0033_展示資料



0034_展示資料



0035_展示資料



0036_展示資料



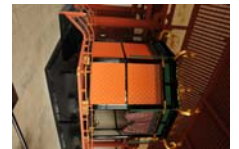
0037_展示資料



0038_展示資料



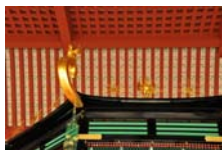
0039_展示資料



0040_展示資料



0041_展示資料



0042_展示資料



0043_展示資料



0044_展示資料



0045_展示資料



0046_展示資料



0047_展示資料



0048_展示資料



0049_展示資料



0050_展示資料



0051_展示資料



0052_展示資料



0053_展示資料



0054_展示資料



0055_展示資料



0056_展示資料



0057_展示資料



0058_展示資料



0059_展示資料



0060_展示資料



0061_展示資料



0062_展示資料



0063_展示資料



0064_展示資料



0065_展示資料



0066_展示資料



0067_展示資料



0068_展示資料



0069_展示資料



0070_展示資料



0071_展示資料



0072_展示資料



0073_展示資料



0074_展示資料



0075_展示資料



0076_展示資料



0077_展示資料



0078_展示資料



0079_展示資料



0080_展示資料



0081_展示資料



0082_展示資料



0083_展示資料



0084_展示資料



0085_展示資料



0086_展示資料



0087_展示資料



0088_展示資料



0089_展示資料



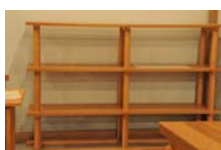
0090_展示資料



0091_展示資料



0092_展示資料



0093_展示資料



0094_展示資料



0095_展示資料



0096_展示資料



0097_展示資料



0098_展示資料



0099_展示資料



0100_展示資料



0101_展示資料



0102_展示資料



0103_展示資料



0104_展示資料



0105_展示資料



0106_展示資料



0107_展示資料



0108_展示資料



0109_展示資料



0110_展示資料



0111_展示資料



0112_展示資料



0113_展示資料



0114_展示資料



0115_展示資料



0116_展示資料



0117_展示資料



0118_展示資料



0119_展示資料



0120_展示資料



0121_展示資料



0122_展示資料



0123_展示資料



0124_展示資料



0125_展示資料



0126_展示資料



0127_展示資料



0128_展示資料



0129_展示資料



0130_展示資料



0131_展示資料



0132_展示資料



0133_展示資料



0134_展示資料



0135_展示資料



0136_展示資料



0137_展示資料



0138_展示資料



0139_展示資料



0140_展示資料



0141_展示資料



0142_展示資料



0143_展示資料



0144_朱雀門



0145_朱雀門



0146_朱雀門



0147_朱雀門



0148_朱雀門



0149_朱雀門



0150_朱雀門



0151_朱雀門



0152_朱雀門



0153_朱雀門



0154_朱雀門



0155_朱雀門



0156_朱雀門



0157_朱雀門



0158_朱雀門



0159_朱雀門



0160_石碑·看板



0161_石碑·看板



0162_石碑·看板



0163_石碑·看板



0164_石碑·看板



0165_石碑·看板



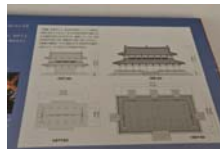
0166_石碑·看板



0167_石碑·看板



0168_石碑·看板



0169_石碑·看板



0170_石碑·看板



0171_石碑·看板



0172_石碑·看板



0173_石碑·看板



0174_石碑·看板



0175_第一次大極殿



0176_第一次大極殿



0177_第一次大極殿



0178_第一次大極殿



0179_第一次大極殿



0180_第一次大極殿



0181_第一次大極殿



0182_第一次大極殿



0183_第一次大極殿



0184_第一次大極殿



0185_第一次大極殿



0186_第一次大極殿



0187_第一次大極殿



0188_第一次大極殿



0189_第一次大極殿



0190_第一次大極殿



0191_第一次大極殿